

34 マメコブシガニ

(コブシガニ科)

兵庫県ランク:B

Pyrhila pisum

環境省ランク:指定なし

種の概要

陸奥湾から奄美大島に分布する。甲幅20mm。砂泥質から砂質干潟に生息する。甲は半球状で表面はざらつき、非常に硬い。甲の色彩は黒褐色から茶褐色、赤褐色と比較的個体変異が多く、不規則なまだら模様となる。漣筋や汀線付近など、わずかに水深がある場所を歩きまわっている。夏の繁殖期には雄が雌をガードしながら歩いている姿を見ることができる。近縁のカネコブシは甲表面の凹凸が激しく、額のくぼみが大きいことで本種と識別できる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			○				○

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、赤穂市、豊岡市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、淡路島及び日本海側で記録がある。県内での記録はいずれも個体数が多くない。また、規模の大きな干潟でも、見られる場所は比較的限られる。生息場所に選好性があるように思われ、砂泥や細砂底で干潮時に漣筋となるような場所によく見られる。

保護上の留意点

特定の巣穴などはもたず表在性であるため、短期的な環境変動にも敏感な可能性がある。埋め立てや護岸工事が本種にとっての生存の脅威になると思われ、安定的な砂泥質干潟の保全が必要である。



写真提供：増田修



写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 渡部哲也